

第52号

Super Highway

JR東労組バス関東本部

発行日
2017. 12. 6

スーパーハイウェイ

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：東河 彰
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
Tel.03-3375-5045 (NTT)

第2回バスフォーラムに315名が結集！

～安全・健康・働きがいと、社会に貢献するJRバスの確立をめざして～



吉川委員長あいさつ

JR東労組は12月5日赤羽会館において「第2回バスフォーラム」を開催し、JR東労組「安全・政策アドバイザー」の労働科学研究所酒井一博所長、名古屋大学大学院加藤博和教授をはじめ、連帯する労働組合、JRバス東北・関東会社の経営幹部の皆さんなど多くの御来賓、全地本・全バス職場の組合員が結集し、315名参加のもと活発な討論を行いました。

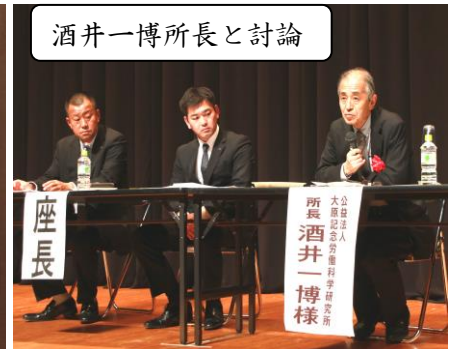


冒頭の吉川中央執行委員長あいさつでは、バスフォーラムで勝ち取るべき「安全と健康・働きがいの実感できるバス業界」「人材確保と育成」「地方創生」の3点の課題と共に、17春闘でたたかい抜いた「格差」の本質を振り返り、今後の社会情勢を踏まえた労働組合のあるべき姿と18春闘を見据えた今フォーラムの位置付けが提起されました。フォーラムではバス事業を取り巻く現状を共有し、一昨年3月開催の「第1回バスフォーラム」以降私たちが積み上げた政策提言の「成果と課題」をもとに、職場から『①常磐道追突事故における原因究明委員会の取り組み』『②JRバスの労働条件を考える』『③人材確保のために労働組合がやるべきこと』『④地域と共に発展する観光路線バス』のテーマで政策提言が行われました。

遠山実行委員長のまとめでは「今後も政策実現のたたかいを職場から具体的に推し進め、若い世代が『安全・健康・ゆとり・働きがい』の実感できるバス業界の再確立と社会に貢献するバスを創り出していこう」と力強い決意が述べられ、今後の方針を参加者全体で確認しました。



加藤博和教授あいさつ



酒井一博所長と討論



遠山実行委員長のまとめ



職場からの政策提言